

お茶大家政	柳沢	澄子
お茶大家政	○鈴木	啓子
三重大教育	伊藤	令子
新潟大教育	清水	薫

1. 着衣基体としての体型を把握することを目的として写真撮影を行ない、前面・側面の写真を用いて身体のシルエットの特徴を観察した。

2. 被検者は大学女子学生 200 人で、1964年 6～7 月に撮影を行なった。被検者には薄手の水着を着用させ、ウエストラインに細いゴムテープをつけさせ、望遠レンズを用い、被写体との距離を 9 m として撮影した。

写真は各個体の 10 分の 1 (身長の実測値を用いた) に引伸し、トレーシングペーパーに写して、肩部、胸部前面、背面、腰部後面の 4 部位の身体シルエットを角度によって測定したものである。

3. 肩部のシルエットすなわち右肩傾斜角は、 \bar{x} 26.5 度、s 4.2 度、胸部前面のシルエットすなわち側面からみた胸部前面の角度は、 \bar{x} 4.3 度、s 5.8 度、背面のシルエットすなわち側面からみた背面の角度は、 \bar{x} 14.1 度、s 4.0 度、腰部後面のシルエットすなわち側面からみた後腰の傾斜角は、 \bar{x} 16.9 度、s 4.0 度である。

また、肩部を除く 3 項目相互間の相関については、胸部前面のシルエットと背面のシルエットとは中等度の相関を示すが、腰部後面のシルエットと背面のシルエット、腰部後面のシルエットと胸部前面のシルエットとの

相関はかなり低い。

以上のことから、ひとりひとりの体型の個性は、かなり強いといえる。